国立大学未来共創シンポジウム
「地域と共創する北海道の医療の近未来」開催のお知らせ

新たな地域医療構想において、医学部を有する大学は、地域の医療・介護の複合ニーズに沿った医師の養成・派遣や、都道府県との密接な連携による人的協力を通じて、地域医療提供体制の確保に貢献することが強く求められています。医師の確保がますます困難となる地域も見込まれる中、大学病院本院が担う教育・人材育成・派遣の役割は一層重要になっています。

こうした位置づけを踏まえ、旭川医科大学は令和８年10月18日（日）14:00～17:00、京王プラザホテル札幌にて、国立大学未来共創シンポジウム「地域と共創する北海道の医療の近未来―2040年に向けた北海道の地域医療の持続可能性をいかに構築するか―」を開催いたします。

第１部では前厚生労働省医政局地域医療計画課・課長補佐　梶原崚氏が「新たな地域医療構想において期待される医科大学の役割」と題して基調講演を行います。第２部のシンポジウムでは、北海道医師会副会長・佐古和廣氏を座長に、北海道庁、北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学、公立芽室病院からの登壇者が、行政・大学・医療介護現場それぞれの立場から近未来の地域医療構想を語ります。さらに事前に実施した住民アンケートと、医療・介護の最前線に立つケアマネジャーへのアンケート結果も併せて示し、フロアを交えたパネルディスカッションで議論を深めます。対象は一般市民、医療・保健・福祉関係者、行政関係者、大学教職員・学生等で、参加は無料です。

会員の先生方には、ご自身の参加とあわせて、地域の患者様・住民の方々への周知、また日頃連携されているケアマネジャー等関係職種へのお声掛けにご協力を賜れば幸いでございます。よろしくお願い申し上げます。

国立大学法人旭川医科大学
学長　西　川　祐　司
同　地域共生医育センター
教授　牧　野　雄　一

日時：2026年10月18日14：00～17：00
会場：京王プラザホテル札幌　プラザホール

【ＨＰはこちら】